

京都市クアラルンプール情報拠点レポート(2019年4月・5月分)

1 統計

○訪日旅行者数(マレーシア)

・2019年4月 46,100人 (2018年4月 49,212人) (伸率 -6.3%)

・2019年5月 42,600人 (2018年5月 36,420人) (伸率 17.0%)

※出典「日本政府観光局(JNTO)」

○京都市内ホテル対象宿泊延べ人数(マレーシア)

・2019年4月 2,313人 (2018年4月 2,410人) (伸率 -4.0%)

対象施設数:56 ホテル

・2019年5月 1,709人 (2018年5月 1,508人) (伸率 13.4%)

対象施設数:57 ホテル

※出典「京都市観光協会データ月報」

2 市場動向

■訪日外客数(2019年1月 推計値)

◆訪日外客数 (全体)

4月 : 2,926,700人 (前年比 0.9%増)

◆マレーシアからの訪日外客数

4月 : 46,100人 (前年比 6.3%減)

考えられる要因

(4月)

マレーシアは、前年同月比 6.3%減の46,100人であった。地方便や経由便を含む新規就航や増便による航空座席供給量の増加があったものの、日本のゴールデンウィークによる影響(訪日旅行商品の高騰、日本国内の観光地の混雑等)もあり、訪日者数は前年同月を下回った。

■国内情勢、経済情勢

2019年第1四半期の経常収支 164億リングgit(約4,237億円)の黒字

マレーシア統計局は、今年第1四半期の経常収支は164億リングgitの黒字だと発表した。2014年以降で最も高い水準。投資収支は、138億リングgitの純流出となった。外国直接投資は前期の129億リングgitから217億リングgitに増加し、四半期の数字としては過去最高。

日本からの投資が最も多く84億リングgitとなった。

マレーシア 政権交代から 1 年。マハティール首相は外交で成果も、公約実現せず支持率は低迷

マレーシアが独立後、初めての政権交代を果たしてから 5 月 10 日で1年を迎えた。史上まれに見る高齢で政権に返り咲いたマハティール首相(93)は、日本との関係強化や前政権が進めた中国関連事業の見直しなど外交面で手腕を發揮。

親日家で知られるマハティール首相は、「最善を尽くす日本人の姿勢をマレーシア人も見習うべきだ」と日本をモデルとする

「ルックイースト政策」の再活性化を進め、日本との協力を教育や企業誘致のみならず、財政再建にも活用。3月に日本の国際協力銀行の保証付きで円建て外債(サムライ債)を発行し、総額2000億円の低利調達につなげた。

ただ、巨額の政府債務を抱えているため、総選挙で掲げた一部公約の実現のめどは立っておらず、政権に対する国民の視線は厳しくなりつつあり、3 月時点での支持率は 46%となっている。

7月で94歳になるマハティール首相は「(首相職を)あまり長くはやらない」と公言。在任期間は2年程度とみられ、後継者にはかつて対立し、その後和解したアンワル元副首相(71)を指名している。

■旅行業界の情報

アウンコンサルティングが実施した親日度に関する調査(世界 13 ヶ国対象)によると、マレーシア人の 73%が日本を「大好き」と答え、回答率は 13 カ国中 4 番目に高かった。また 27%が「好き」と回答し、「嫌い」、「大嫌い」の割合は 0%となった。

日本旅行で困ったことや不安なことに関しては、32.2%が「交通費が高い」と回答。それに「地震などの災害」(回答率 20.0%)、「スタッフとの会話が通じない」(同 15.6%)が続いた。

マレーシアの旅行代理店 Reliance (PYO Travel)が営業停止。

■日本関連イベントトピックス

マレーシア旅行博 「MATTA Fair Kuala Lumpur 2019 (春)」 開催

マレーシア最大の旅行博 MATTA Fair Kuala Lumpur が、3月15日～17日の日程で開催された。総来場者数は約 11 万 4 千人。ジャパンパビリオンには、沖縄県や、神戸市、岡山市をはじめとする自治体や、阪神阪急ホテルズ、ドリーミンなどのホテル、鉄道会社など総勢 21 の組織・企業が出展した。次回開催は、2019年9月6日～8日を予定している。